

令和7年度 部の運営方針書

企画部

1 部の運営方針

【部の使命】

市の最上位計画である「まちづくり総合計画」及び人口減少問題の克服を目指した「まちの強み進化戦略(デジタル田園都市国家構想総合戦略)」に基づき、計画的なまちづくりを進めるため、庁内各部署・関係団体等との連携調整、新施策の企画・立案等への取り組み、先端技術・ビッグデータ等を活用した地域課題の解決、わかりやすく正確な広報活動や幅広い広聴活動に資する業務に取り組みます。

【部の目標】

①第3次まちづくり総合計画及びまちの強み進化戦略(デジタル田園都市国家構想総合戦略)の推進

人口減少を最大の課題と捉え、まちづくりの基本理念を念頭に、まちの将来像実現を目指し、効果的な施策展開を図るために、成果指標の推移を参考とした施策評価の手法を整理し、着実な事業実施が図れる制度設計を行います。

②市民館跡地利活用事業の着実な推進

市民館跡地利活用における、国機関の集約化を図るための関係機関との協議・調整を行い、可能な限り早期の国庁舎の整備実現に努めます。また、現在、中間報告となっている「文化小ホール基本構想・基本計画」の策定再開に向け、関係機関・民間企業・庁内関係課との協議調整を行います。

③デジタル技術を活用した持続可能な行政サービスの提供と、先端技術を活用した地域課題の解決と新たな価値の創造

情報システムの安定稼働と適正運用、情報セキュリティの確保等に努めるとともに、効果的かつ計画的に先進デジタル技術やデータを活用した新たな価値の創造を実現します。

④周南公立大学との政策連携の強化と施設整備の推進

大学の「知の力」を地域に還元するため、市民の学び直しの支援、地域人材の育成、若者によるまちの賑わいの創出など、大学との政策連携の強化を図ります。併せて地域貢献大学としてふさわしい機能を備えた魅力あるキャンパスとするため、大学が実施する将来的な施設整備・更新のための計画策定を支援します。

⑤市民にわかりやすい広報紙の提供、SNSを活用した効果的な情報発信と、幅広い広聴活動の実施

市政情報や市民の手続きに関する内容をわかりやすく伝えるため、広報紙やホームページはもとより、LINEをはじめとした公式SNSを活用し、市民が必要な情報に迅速にアクセスできるよう努めます。併せて、まちづくり提言や市民アンケート等を実施することで、より多くの市民の意見を市政に反映できるよう取り組みます。

【行政経営への取り組み】

- ・事務の効率化を図り、働き方改革の推進による、時間外勤務の削減及び有給休暇の計画的な取得のほか、ワーク・ライフ・バランスの実現、労働環境の整備に努めます。
- ・スケジュール管理等、情報共有を徹底し、業務の平準化を図るとともに事務改善に努めます。
- ・モバイル端末の導入等により柔軟に行政サービスを提供できる制度や環境を整備し、生産性や利便性の向上を図ります。
- ・データの収集・分析・可視化、デジタルツールの導入等によりデータのオープンデータ化や利活用、EBPMを促進し、質の高い行政サービスの提供を図ります。
- ・国庫補助・交付金等を活用し、効果的な施策の推進を図ります。

2 部の経営資源

(1)部の体制

職員数	46.16 人	うち	正職員	37.1 人	・	会計年度 任用職員	9.06 人	人件費	正職員	269,717 千円	会計年度 任用職員	8,255 千円
-----	---------	----	-----	--------	---	--------------	--------	-----	-----	------------	--------------	----------

※R5職員平均給与(7,270 千円)ベース

※予算計上額

(2)事業規模

歳入予算額	780,984 千円	歳出予算額	2,668,364 千円	(正職員人件費を除く)	担当予算小事業数	20 事業	担当課数	5 課
-------	------------	-------	--------------	-------------	----------	-------	------	-----

3 部の中期目標（優先順） 第3次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	8 行政経営 1 持続可能な行政マネジメントの実践 4 適正で効率的な事務執行 （企画課）	第3次まちづくり総合計画及びまちの強み進化戦略（デジタル田園都市国家構想総合戦略）を着実に推進し、人口減少問題の克服を目指します。
2	7 生活基盤 3 都市拠点等の形成 1 中心市街地の拠点性の向上 （企画課）	市民館跡地へ、国の集約化機関の整備に向け関係機関と協議・調整を図るほか、文化小ホール基本構想・基本計画の完成及び施設整備を目指します。
3	8 行政経営 8 持続可能な行政マネジメントの実践 4 適正で効率的な事務執行 （秘書課）	円滑な市政運営を図るため、市長・副市長の適切なスケジュール管理を行います。市長・副市長の業務遂行を効率化し、意思決定が適正に行われるよう補佐します。
4	8 行政経営 1 持続可能な行政マネジメントの実践 4 適正で効率的な事務執行 （秘書課）	効率的・効果的にまちづくりを進めるため、市政運営に関し庁内の総合調整を行い、政策決定の迅速化、円滑化を図り、施策を着実に推進します。
5	8 行政経営 1 持続可能な行政マネジメントの実践 4 適正で効率的な事務執行 （スマートシティ推進課）	先端技術、データの活用等により、地域課題の解決や新たな価値の創造を図り、市民サービスや生産性の向上、全体最適化を実現します。
6	8 行政経営 1 持続可能な行政マネジメントの実践 4 適正で効率的な事務執行 （スマートシティ推進課）	適正な運用・管理により、情報システム等の安定稼働、コスト削減等を実現するとともに、人的・物理的・技術的な情報セキュリティ対策等により、情報セキュリティを確保し、情報システム等の安定稼働等を実現します。
7	8 行政経営 1 持続可能な行政マネジメントの実践 4 適正で効率的な事務執行 （スマートシティ推進課）	統計調査を円滑に実施します。
8	2 教育・こども 1 子育て支援の充実 1 子育て支援サービスの充実 （公立大学連携課）	高等教育機関の「知の力」を活用した公開講座の実施等により、市民の学び直しを支援し、地域人材を育成するとともに、学生の地域への定着につなげていきます。 ・高等教育機関との連携事業数（R11目標：累計50件） ・周南公立大学と地域の連携人数（R11目標：年度内延べ1,000人） ・周南公立大学卒業生の市内就職者数（R11目標：直近5年の累計300人）

9	1 産業 1 商工業の振興 4 中小企業等の経営安定化 （公立大学連携課）	市内に居住し、中小企業等に正規雇用されている若者に対し、奨学金の返還支援を行うことで、企業人材の確保と若者の定住を促進します。 ・未来人材奨学金返還支援事業の登録事業者数（R11目標：累計50事業者） ・未来人材奨学金返還支援事業の利用者数（R11目標：累計50人）
10	5 防災・安全 1 災害に強いまちづくりの推進 2 河川等の適切な管理と施設改修・整備の推進 （公立大学連携課）	大学からの排水を適切に管理し、周辺地域の住民の安全安心の確保につなげます。
11	8 行政経営 1 持続可能な行政マネジメントの実践 4 適正で効率的な事務執行 （広報広聴課）	市政情報を広報紙、ホームページ、ケーブルテレビ、SNSなど複数の媒体を活用して分かりやすく伝えるとともに、市民が意見や提言をしやすい環境を整え、行政と市民の相互理解を深める市政の実現に取り組みます。